

# 平成21年度第1回福岡県がん診療連携協議会議事録

|              |  |
|--------------|--|
| 日 時          | 平成21年7月6日(月) 15時00分～16時50分   |
| 場 所          | 北九州市立医療センター講堂  |
| 出席者<br>32名   | 別紙出席者名簿のとおり  |
| 九州がんセンター(院長) | <p><b>1) 開会の挨拶</b><br/>         ただ今より平成21年度第1回福岡県がん診療連携協議会を開会いたします。今回より会場を持ち回るといふことで、本日は北九州市立医療センターにお願いをしています。それでは議事次第にそつて進めていきたいと思ひます。</p>  |
| 九州がんセンター(一瀬) | <p><b>2) 福岡県がん診療連携協議会専門部会運営要領の改定及び専門部会長の交替について</b><br/>         持ち回り福岡県がん診療連携協議会にて、専門部会運営要領の一部を変更させていただきました。(第6条2項の「専門部会に、部会員から成る、業務に応じたワーキングチームを編成する。」の「部会員から成る、」を削除)</p>   |
| 九州がんセンター(院長) | <p>専門部会長の交替については、地域連携・情報専門部会長に九州がんセンター統括診療部長の「藤」、がん登録専門部会長は九州がんセンター臨床検査科医長(病理医)の「西山」に交替することとなりました。</p>   |
| 九州がんセンター(藤)  | <p><b>3) 各専門部会の現状報告</b><br/> <b>①地域連携・情報専門部会</b><br/>         (1) 福岡県のがん診療連携の推進体制について<br/>         概要については別紙にて説明。<br/>         地域連携・情報専門部会の中で一番大きなテーマは「地域連携パス」で、2回程みなさんに集まっていたいただき検討しましたが、福岡県がん対策推進協議会より最初から医師会の先生を含めて検討すべきであると指摘を受けて中断しているところです。福岡県医師会がん診療連携運営委員会を立ち上げていただき、4つのブロックの代表者を選出していただき現在検討していただいています。福岡県がん診療連携協議会と福岡県医師会がん診療連携運営委員会が密に連携を取り、最終的な案を福岡県がん対策推進協議会に上げて、福岡県のがん診療の推進体制を作っていくこととなります。<br/>         (2) 専門部会の編成について<br/>         専門部会員については別紙参照。<br/>         15の拠点病院と福岡県医師会、福岡県、4つのブロックの代表の先生を含む医師会の先生にも入っていただいています。<br/>         (3) 地域連携パスに関する活動報告と今後の推進方針について<br/>         概要については別紙にて説明。<br/>         福岡県で統一されたがんの地域連携パスを構築する。福岡県全体でネットワークを構築するのはなかなか難しいことですが、とりあえず福岡ブロックで取り組んで、他のブロックに情報を公開して参考にしてもらうということ動いています。福岡市医師会を中心に福岡ブロックの拠点病院、一般がん診療病院にて福岡ブロックがん診療連携協議会を立ち上げ動いています。5大がん全て同時に作ることは無理だということ、胃と大腸がんについてたたき台を作っているところです。福岡県医師会全会員へアンケートを送付し、回答があった分についてはリストを作成しています。今、こういう動きがあるのだということ認識していただければ</p> |

|                              |  |
|------------------------------|--|
|                              | <p>ばと思います。<br/>送付枚数7,601通、回答枚数2,653通、現在解析中で結果がでましたら報告したい<br/>と思います。</p> <p>(4) 緩和ケアワーキンググループの活動方針について<br/>(5) 相談支援・情報ワーキンググループの活動方針について<br/>緩和ケアワーキンググループ、相談支援・情報ワーキンググループについては、<br/>まだ報告できるような活動は行っていません。今後どうしていけばよいか検討い<br/>ただければと思います。</p>  |
| 済生会福岡総合病院(松浦)<br>九州がんセンター(藤) | <p>アンケートに基づいてネットワークを作るのですか。</p> <p>アンケートは基本にはなるとはありますが、参考資料ということで手上げ方式で病院を<br/>リストアップして患者に提示するのが良いのか、各地区にある程度のネットワークはあ<br/>ると思うので、パスの紙そのものは共通のものにして個別に説明していくのが良いのか<br/>協議いただきたいと思います。</p>  |
| 済生会福岡総合病院(松浦)                | <p>医師会の先生との話し合いになるとはありますが、ステージⅠのフォローアップになる<br/>と思うので、胃、大腸癌に関することだけでも早めに取りかかるべきだと思います。</p>  |
| 九州がんセンター(藤)                  | <p>一つの方法として、ネットワークに参加できるという人に啓発の文書を配布し、さら<br/>には公表し説明する会を何度か開かなければならないと思います。オブザーバーとして<br/>各ブロックにも説明に行きますので声をかけていただければと思います。</p>  |
| 福岡大学病院(田村)                   | <p>研修・教育では緩和ケア研修があり、地域連携でも緩和ケアワーキンググループの活<br/>動をということで、研修・教育と地域連携のコラボレーションみたいなことが検討でき<br/>ないでしょうか。</p>   |
| 九州大学病院(水元)                   | <p>相談支援・情報ワーキンググループの活動についてですが、各ブロック毎の情報交換<br/>が必要である。筑後では定期的な情報交換会を行っているみたいですが、県全体として<br/>の組織化を進めて行く必要があると思います。相談支援については方向性が明確ではな<br/>いので、早めに進めるべきだと思います。</p>  |
| 九州がんセンター(藤)                  | <p>相談支援センター及び地域連携室の活動をうまく行うことが、地域連携パスの成功に<br/>繋がるとは思いますので、早急に進めたいと思います。</p>  |
| 九州医療センター(村中)                 | <p>相談支援となれば行政側のサービス提供もあるので、地域からの情報提供を受けられ<br/>るようなネットワークが必要であり、そういった方向性を見据えながらやっていく必要<br/>があると思います。</p>  |
| 福岡県(櫻木)                      | <p>医療指導課の方でモデル事業を行っているが、その中で相談体制を整えています。し<br/>かし、市町村までは話は進んでいません。ワーキングの中で情報提供ができればと思い<br/>ます。</p>  |
| 九州がんセンター(藤)                  | <p>ワーキンググループを立ち上げる時には、市町村の担当者の人選は県の方をお願いは<br/>できるでしょうか。</p>  |
| 福岡県(櫻木)                      | <p>相談いただければ協力したいと思います。</p>   |
| 九州がんセンター(西山)                 | <p><b>②がん登録専門部会</b><br/>現在、各拠点病院より国立がんセンターへデータを提出していただいて、国立がんセンタ<br/>ーからのデータ待ちという状況です。データが各病院に戻ってきたら本格的な活動が始まる<br/>と思います。どのようなデータが戻ってくるか分かりませんが、各病院のデータを九州がん<br/>センターに提出していただき年齢別、性別等の表を作成し、各病院に返したいと思っていま<br/>す。<br/>予後調査については先週「生存確認調査ツール」の説明会が行われました。今院内がん登<br/>録で使っているシステムに「生存確認調査ツール」を設定すると予後調査に役立つというこ</p> |

|                |   |
|----------------|---|
|                | とでした。入力をするると該当の市町村宛への「住民票交付依頼文書」が自動で発行されるというものです。   |
| 九州大学病院<br>(水元) | 予後調査の90%達成を考えると行政との連携が必要だということでこの話が出ています。   |
| 福岡県(櫻木)        | 住民票写しの交付については様式を県の方でも検討をしています。市町村の方のがん登録に関しての照会に対するアンケートを実施したいと考えています。がん登録事業として九州がんセンターの協力をいただいで進めていきたいと思しますのでよろしくお願ひいたします。   |
| 九州がんセンター(院長)   | 中央の方でも分析はしているので、福岡県として特別に何かを分析するかということになるかと思ひます。先日の会議で都道府県別のデータは公表するということになりましたので、近いうちに公表されると思ひます。施設別のデータの公表の話もありましたが、反対もありまして保留になっています。しかし今後公表する方向で進むと思われますので、精度管理をしっかりと願ひします。   |
| 福岡大学病院<br>(田村) | 公表の方法、内容についてはどのようなものか分からないが、データが一人歩きするので十分に注意して願ひしたい。   |
| 九州がんセンター(一瀬)   | 福岡県としては分析しなくていいですか。   |
| 九州がんセンター(院長)   | 今回はペンディングして検討することとしまししょう。   |
|                | <b>③研修・教育専門部会</b>   |
| 九州大学病院<br>(水元) | 正式には開催していなかったもので、6月24日に持ち回り書面にて開催しました。専門部会のメンバーは別紙1のとおりです。<br>研修については「福岡県コメディカルスタッフがん医療研修会」を10月より3回予定し、参加者を募集しました。<br>「がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会」の現状は別紙3のとおりで、各拠点病院にて熱心に研修会が実施されているようです。研修会のアンケートを行っており、結果は別紙のとおりでした。研修会の実施方法については、単位型が望ましいが実施するには系統的に難しいと思われるとい意見がありました。医師会の方からは単位型での願ひを受けているところだす。<br>「院内がん登録研修会」は別紙6のとおり実施予定ですので参加を願ひします。<br>「がん看護に関わる看護師の育成研修」については別紙8のとおりプログラムを作成しており、7月21日より開催予定で参加者を募集しています。<br>「九州大学病院がんセミナー」の開催状況は別紙9のとおりで、ホームページにて動画配信(各拠点病院等のID・パスワードは別紙12)を行っています。<br>10月11日に市民公開講座を行いますので、各拠点病院にポスターを送りますから掲示をしていただき、市民のみなさんにお知らせ下さいますよう願ひします。 |
| 九州がんセンター(院長)   | 「がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会」の実施方法について体制はいかがですか。  |
| 九州大学病院<br>(水元) | 4～8施設では既に単位型で実施しています。県医師会からも要望されていますので検討していきたくと思ひます。  |
| 福岡県医師会<br>(山岡) | 是非よろしく願ひします。  |
| 九州医療センター(村中)   | 一年間のスケジュールを最初から決めてしまいう等、やり方次第ではできないことはないかと思ひます。   |
| 九州大学病院<br>(水元) | 毎回プログラムが全く同じでないといけないので、なかなか難しいと思ひますし現在でも施設によって微妙に違っているのが現状である。  |

|                 |  |
|-----------------|--|
| 北九州市立医療センター（豊島） | <p>4) 北九州市立医療センターにおけるがん診療連携拠点病院としての取り組みと北九州ブロックの現況<br/>概要は別紙にて説明</p>   |
| 九州がんセンター（院長）    | <p>5) その他<br/>①第2回都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会報告<br/>内容は盛りだくさんですが、ポイントとしては先ほどの院内がん登録のデータを公開していいかということになります。</p>   |
| 九州大学病院（水元）      | <p>問題は施設別登録データの公開だと思いますが、各施設に公開してよいかの問い合わせはあると思うが、行政側としては公開して欲しいという意見もあり、十分な議論のうえ公開するか決定するということでした。</p>  |
| 福岡県（櫻木）         | <p>②連絡事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国がん対策関係主管課長会議の報告について<br/>がん診療連携拠点病院の指定更新について、指定更新推薦書の様式が変更となり8月下旬に届く予定となっていますので、提示される時期によっては、提出期限の9月10日を少し遅らせることも検討します。厚生労働省への推薦締め切りは10月31日厳守となっていますので、よろしくお祈いします。<br/>相談支援センターにおける相談件数の報告がありました。<br/>緩和ケア研修会修了書の交付については、福岡県は12ヶ所で実施していただき、133名に交付されています。<br/>福岡県がん対策推進計画の「がん医療」、「たばこ対策」、「がん検診」に係る3つの取組について、10月末までに進捗状況を報告することとなっています。<br/>がん対策情報センターにおける各機能等の取組状況と今後のスケジュールについては、別紙をご参照下さい。<br/>「がんに関する冊子」、「がん患者必携の3本柱」についてはご参照下さい。<br/>がん対策情報センターの研修計画が作成されていますが、その中の「相談支援センター相談員基礎研修（3）」は指定要件であり、未修了の拠点病院を優先されるということですので、該当する病院は7月9日正午までに申し込みをお願いします。</li> <li>・在宅緩和ケア薬剤師研修会の講師依頼について<br/>昨年度は2回実施し、今年度も2回予定したいと考えていますので、講師依頼についてはご協力よろしくお祈いします。</li> </ul> |
| 九州大学病院（水元）      | <p>患者数、相談数等の把握が大変だと思うが、それらの変更はないのでしょうか。</p>  |
| 福岡県（櫻木）         | <p>昨年と変わらないと思っていますが、できるだけ早めに国の方に確認しますので、よろしくお祈いします。</p>  |
| 九州がんセンター（一瀬）    | <p>③平成21年度福岡県がん診療連携協議会開催予定<br/>別紙のとおり開催予定（案）を作成していますがいかがでしょうか。久留米大学には本日欠席ということで内諾は得ています。</p>   |
| 九州大学病院（水元）      | <p>院長等の都合もありますので追って連絡差し上げます。</p>   |
| 福岡大学病院（田村）      | <p>10月5日は協議会があるので、大学関係は都合が悪いと思います。</p>   |
| 九州がんセンター（一瀬）    | <p>第1候補を10月19日、第2候補を他の月曜日にしたいと思います。</p>  |
| 九州がんセンター（院長）    | <p>6) 閉会の挨拶<br/>これをもちまして第3回福岡県がん診療連携協議会を閉会いたします。</p>   |